

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評
(主に当連盟加盟チーム選手を中心に)

女子57kg級

女子57kg級は宇高が攻めの柔道で勝利を掴む。

攻撃柔道のコマツ宇高菜絵参段は難なく準決勝戦に進出。チームの後輩大友真貴子参段との準決勝戦では、開始間もなく小外刈で技ありを奪い、その後の大友の反撃を振り切る。

準優秀の自衛隊体育学校の平井希四段は、接戦を制して勝ち上がる。準決勝戦では昨年のチャンピオン石川慈参段(コマツ)と対戦し、旗が分かれる際どい勝利をものにする。

準決勝戦第1試合

3 石川 慈	(優勢勝)	④ 2 平井希
(コマツ)	(ゴールデンスコア)	(自衛隊体育学校)

準決勝戦第2試合

3 宇高 菜絵③	(小外刈)	3 大友 真貴子
(コマツ)		(コマツ)

▽決勝戦

2 平井希	(優勢勝)	④ 3 宇高 菜絵
(自衛隊体育学校)	(ゴールデンスコア)	(コマツ)

平井左組み、宇高右組みの両者は互いに組み合わず43秒、両者に指導1。2分18秒には技の出ない宇高に指導2が与えられる。しかし、3分23秒に平井にも指導2が来て引分。

延長戦では、互いに引手を握れず、攻め切れない状態が続くが、次第に平井に疲労の色濃くなり、一方の宇高は終始攻勢に出るもポイントを奪えないまま時間となる。旗判定は白3本が上る。